

ワールドマスターズゲームズ2021関西ボランティアセンター運営業務
プロポーザルに関する質問への回答について

【A社質問事項への回答】

- ・業務内容 (5) ボランティア説明会の会場準備について、会場の準備の内容について教えてください。

午前・午後のプログラム研修で、講師の方の備品は何か必要でしょうか？

音響、プロジェクター、PC、以上の内容で良いでしょうか？

⇒ 研修会の会場に必要な備品は、音響設備（マイクを含む）、プロジェクター、スクリーン、パソコン及び接続ケーブルです。

- ・業務内容 (6) 大会本番のボランティアの受付及び管理について、交通費の支給について教えてください。

支給の方法で、例えば振込や書留など手数料等の費用が発生する場合は、委託者の負担と考えて良いでしょうか？

⇒ 交通費の支給に際して振込手数料等が発生する場合は、委託者が負担します。

【B社質問事項への回答】

- ・仕様書によるとボランティア募集についての業務は無いが募集主体は誰がやるのか。

また、募集でボランティアが集まらなかった場合、センター受託者に責任はあるのか。

具体的にはどう対応するのか。

⇒ 募集に係る関係機関への声掛けは、委託者が行います。

よって、ボランティアが集まらなかった場合、受託者に責任を問うものではありません。

- ・ボランティアの日程と会場は資料でわかったが、必要人数（概算）が見えてこない、ボランティア受付の規模、配置の人数などが見えてこない。現状の数字がわかるか。

⇒ 必要人数は、概算で延べ2,600人です。

- ・ボランティアの受付対応とあるが、すべてのボランティア会場で競技時間の間、スタッフを配置しないとイケないか（例えば空港などの受付等）

⇒ 基本的には、各会場でボランティア受付をしていただくこととなりますが、例示のあった空港など、必ずしも全時間のスタッフ配置を必須とするものではありません。

- ・新型コロナウイルスによる感染が広がっているが、大会が延期・中止になった場合の本事業はどうなるのか。延期時の委託金額の扱いの可能性を知りたい。

⇒ 延期・中止になった場合は、その時点での所要経費を委託者が支払い、必要な変更契約を行う予定です。

- ・新型コロナウイルスによりオリンピックが延期となったが、本大会のスケジュールに影響はないのか。

⇒ 大会組織委員会は、新型コロナウイルス流行の終息目途が立つことを前提に、予定通り2021年5月に開催する考えです。

- ・資料によると申し込みが10月で終わっているが、鳥取県のボランティア参加のタイミングや過去の申し込みピークを考えると、本番3か月前くらいまでは妥当と考えるが、そうなった場合の業務量の増加と予算の関係を教えてください。

⇒ 大会組織委員会の方針で、大会全体として、ボランティアの申込は10月末と決まっています。

ただし、申込状況によっては締切を延長することも想定しており、その場合、延長によって増加した業務に係る費用は、別途、必要な変更契約を行う予定です。